



## 優雅な動作で太極拳 心と体をリフレッシュ

中国に古くから伝わる太極拳はゆったりした動作と深い呼吸で気を養う健康法。気軽に学べることから幅広い年代層に親しまれ、人気です。「西目町太極拳協会」の皆さんも週に2回、シーガルなどで練習に励んでいます。小山博美会長(59歳・西目町沼田)は「体を動かし、みんな楽しく和やかに活動しています。心身の健康維持に最適ですよ」と話しました。

《第48回》  
楽しく、「おいしい矢島」をつくります

矢島地域「手づくりの店 PAO・ぱお」  
《矢島町城内字八森下535 ☎56-2702》



「楽しく、やりがいのある農業を発信したい」と話すくみさん(左)と孝義さん

佐藤孝義さん(63歳)とくみさん(63歳)にお話をうかがいました。

笑売繁盛!!

このコーナーでは、市商工会に加盟している市内各地域の「人気のお店」、「頑張る会社」を紹介します。今回は、矢島地域の「手づくりの店 PAO・ぱお」です。

### 創業

平成11年にオープンした「矢島町農水産物直売所やさい王国」に出荷する商品を作るため、平成12年にパンの加工所として立ち上げ。その後、孝義さんが作る米や矢島産の食材を生かすために、餅やお菓子の製造を始める。ご夫婦にとって、本業はあくまで農業で、加工所の仕事は副業。



叩いて蒸した皮(粳)と松皮餅

白あん(桜葉餅)や包んだぐら餅は5月初旬までの期間限定品

やさい王国に出荷する商品の多くは餅類。中でもおよそ10年前から作り始めた松皮餅は主力商品。かつての家庭での作り方を独自に再現しており、自然のやさしく懐かしい味。

### 松皮餅

他にもおはぎや豆餅など6種類ほどの餅を作っている。どれも、杵つきでコシがあり、しっかりと伸びる餅と自家製のおあんが自慢。

### ヨーグルトシフォンケーキ

牛乳の代わりにミルクのジャージー牛乳ヨーグルトを使ったシフォンケーキのレシピはオリジナル。しっかりとふわふわで、矢島で採れた卵の風味が生きる人気商品。予約注文も受けている。

矢島産食材へのこだわり  
お米や牛乳など、地元にあるもので商品を作ること。餅米は全て自給しており、田んぼの水張りや生育環境に気を配りながら育てた自信の米。

### よろこび

おいしいと言ってもらえることが励みになっている。やさい王国の開店時間に商品と並べたために朝は早いが、苦労した分だけ喜びも大きく、苦にならない。



やさい王国での販売の様子。くみさんお手製のコメントカードで飾られている

### 今後

松皮餅を伝えていくために、後継者を育てたい。やる気がある人には加工所を譲る気持ちも持っているが、後継者探しは課題。やりがいがある、楽しい仕事だと胸を張って言える。



工房で作業する佐藤さん夫婦

朗らかで笑顔が絶えないくみさんと、穏やかな孝義さん。結婚以来、30年以上にわたり農業の副業を模索し続けた結果、今の形になったそうです。商品のレシピやひと工夫を考えるのはくみさん。「思いつくことや作ることが大好き」と声を弾ませ、現在は矢島小学校のひまわり油を使ったパンを試作中です。まだまだ、地元の食材の良さを引き出すアイデアは尽きません。



矢島町農水産物直売所  
やさい王国  
営業時間  
9:00~18:00  
定休日/なし

※お一人のインタビュはケーブルテレビで放送されます。番組もお楽しみください。

## 読者プレゼント 広報クイズ(笑売繁盛プレゼントつき!)

手づくりの店PAO・ぱおから「ヨーグルトシフォンケーキ」を5人にプレゼント!  
■応募資格/市内にお住まいの方(応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見やご感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

ハガキ、ファクシミリ、電子メールでご応募ください。

Q1 市の公共施設の棟数は?  
1 約950棟  
2 約2,100棟  
3 約3,900棟

Q2 雪上トリアスロン大会で競われた種目は?  
1 スキー  
2 スノーシュー  
3 そり

住所・氏名・年齢  
電話番号  
クイズの答え  
おたより

〒015-8501 尾崎17番地  
「読者プレゼント」係



※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

# 総合防災公園

アリーナ

# 待望の着工！！



工事の安全を願い、鍬入れを行う長谷部市長（左）。下はアリーナのイメージ



躍動と活力あるまちづくりの核として新設する「（仮称）由利本荘総合防災公園」アリーナの安全祈願祭が3月18日、石脇字田尻野の建設現場で行われました。

祈願祭には市、議会、建設工事特定企業体などの関係者約130人が出席。長谷部市長は「この防災公園はスポーツ交流機能と防災機能が融合した複合型交流拠点となります。災害時には広大な敷地を活用し、最大で約2万人の一時避難が可能です。また、メインアリーナは東北屈指のスケールで、プロ競技や全国規模の大会などを招致することで、子どもたちや若者に大きな夢と希望を与えるものと確信しています」とあいさつを述べました。アリーナは2階建てで、延べ床面積

は約1万7千平方メートル。最大で5千人を収容できるメインアリーナや武道場のほか、合宿機能を備えた地域コミュニティセンターも整備されます。工期は平成30年6月まで。工事が長期にわたるため、何かとご不便をおかけいたしますが、円滑な実施にご協力をお願いします。

## Interview

### 市民の安全・安心を担う「総合防災公園」

防災公園の整備は、私たち地域住民にとって待ちこがれていた計画でした。日頃はスポーツ交流を楽しむ憩いの場で、災害が発生したら防災公園施設に切り替えができ、生活の安全確保が図られます。標高は約18メートル、面積も約13万平方メートルあり、津波や洪水にも対応できる広域避難場所です。多発する自然災害に対し、地域の声を聴きながら、この防災公園の運営や活用を検討していきます。



総合防災公園管理運営計画検討委員

打矢洋介 さん  
(68歳・石脇・防災士)

平成28年度  
施政方針

# 力強く躍進する 由利本荘市に

平成28年度の市政の進め方を決める本年第1回市議会定例会で、一般会計当初予算461億円が原案どおり可決されました。長谷部市長は施政方針の中で、「市民皆さまの信頼と期待に込めながら『力強く躍進する由利本荘市』を全力でつくりあげます」と8項目の重点施策に取り組み決意を述べました。

## はじめに

昨年3月、市では次の10年を見据え、市総合計画「新創造ビジョン」を策定しました。「人口減少に歯止めをかけること」を最重要課題とし、その戦略方針として「国内外から人と財が集まる地域価値

（由利本荘ブランド）を創造する」ことを掲げました。

平成28年度はこの施策が本格化する2年目にあたり、また、私が市政を担わせていた2期目の最終年であり、市民皆さまの信頼と期待に応えながら「力強く躍進する由利本荘市」を全力でつくりあげてまいります。

## 総合防災公園の整備

市総合防災公園整備事業については、平成26年度に防災公園事業として国の支援を受け、用地取得や地質調査、実施設計などを実施しました。昨年12月に総合

事などを予定しています。また、管理運営計画の策定、スポーツ大会や合宿、イベントを誘致する官民一体の組織「由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッショ

防災公園アリーナ棟建築工事に着手し、平成30年6月の完成を目指しています。新年度は基礎工事や躯体工

「ン」を設立し、施設完成後の利用促進に結びつける活動に取り組みます。

管理運営の基本を「スポーツ振興」「健康増進」「防災」「地域コミュニティ」「地域経済活性化」の5つの機能とし、特に「スポーツ振興」については10月10日に「スポーツ立市宣言」を予定しており、それまでに策定する本市「スポーツ振興計画」にアリーナの位置づけを明確にします。

力強くまちづくりに取り組む決意を表明する長谷部市長

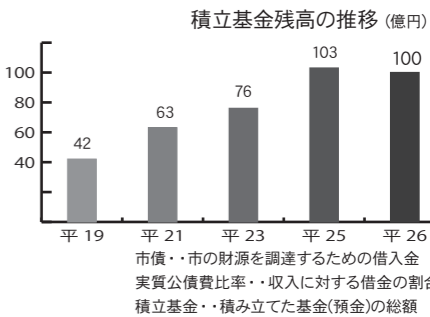
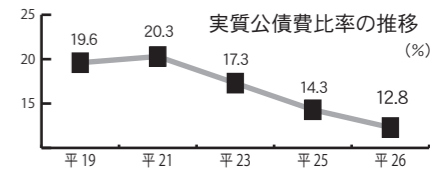
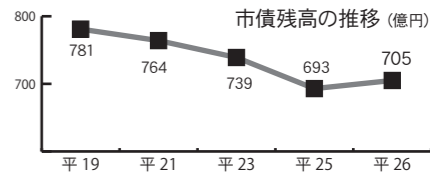


本市の総合計画「新創造ビジョン」を基に、昨年11月、「人口ビジョンおよび総合戦略」を策定しました。総合戦略では、まちづくりの基本目

## 総合戦略と財政

標として「産業集積の強靱化と雇用創出」「子どもを産み育てやすい環境の創造」「生きがいあふれる健康長寿社会の形成」「ふるさと愛の醸成と地域コミュニケーションの再生」の4つの柱を定め、重層的に施策を展開して人口減少社会、少子高齢化などの課題の解決を目指します。

財政では、新年度予算における普通交付税は地方財政計画の前年度比0・3%減少分と合併算定替えの逓減分や、国勢調査の人口減少分などを考慮し、総額で約169億4千万円、臨時財政対策債との合計では約182億9千万円



と見込んでいます。

また、歳入の根幹である市税は市民税と固定資産税が減額になるなど、依然として厳しい状況にあります。

歳出面では新創造ビジョンや総合戦略に基づき、雇用対策や子育て支援の充実をはじめめとする人口減少対策などに国の補助金や交付金などを活用しながら、地域の特性を生かしたメリハリのある予算編成としたところです。

今後は合併算定替えの逓減がさらに進むことから、財源の減少を見据え、持続可能な財政構造を確立していくため、行財政改革の取り組みとともに、「公共施設等総合管理計画」の策定を進めます。

◆関連記事は14ページ



移住体験ツアーで、アケビを収穫

## 移住定住と地域ブランド形成

昨年度、私は「由利本荘まるごと営業本部」を新設し、仕事づくり課とまるごと売り込み課を配置して、移住定住の促進や地域ブランド・特産品の販路拡大を強力に推進して参りました。これまでに9世帯15人が本市に移住を決められ、また「住みたい田舎」ランキング「シニア世代が暮ら



### 心の豊かさ求め、市の支援を受けて移住

母が本荘の出身で、帰省の際には祖父母宅に泊まり、親類や近所の皆さんに仲良くしてもらっていました。都会にはない「豊かな人間関係」を築きたいと、夫婦で移住を決意。仕事づくり課の支援のおかげで、夫の仕事もすぐに見つかりました。市の定住促進奨励金制度も利用したいと思います。まだ、地域の風習がつかめませんが、近隣の方と良いお付き合いをさせてもらっています。



東京都から夫婦で移住  
田邊正子さん  
(44歳・中梵天)

Interview

して首都圏への流通体制の整備を図ります。

由利本荘ブランドの創造についてはJ A秋田しんせいや商工会、道の駅、直売所などで構成する委員会を「由利本荘まるごと売り込み推進協議会」に格上げし、首都圏への販路拡大を進めます。



市の物産や観光をまるごと売り込み！

域の特産品や文化を活用した体験型ツアーなどによる滞在型観光を推進します。訪日観光については、台湾やタイ王国でトップセールスを行い、海外からの誘客活動を積極的に展開します。

また、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を機に、全国の18市町村で組織する「真田街道推進機構」によるスタンブライーや、宮城県白石市、蔵王町と設立した「みちのく真田ゆかりの地観光推進協議会」によるPR活動で本市を積極的に売り込むとともに、「御田の方」にちなんだ商品開発に取り組めます。

農林水産業については、昨年10月のPPP大筋合意によりコメの輸入枠は拡大され、牛肉等の関税も段階的に大幅な引き下げとなります。国、県の施策を積極的に活用し、本市農業の維持・発展に努め、農家の皆さまが意欲を持つて安定した農業経営に取り組めるよう支援します。

農業振興については、安全・安心で高品質なブランド米生産への取り組み支援と、農地中間管理事業による農地の利用集積を進め、農用地利用の効率化に努めます。

また、「園芸メガ団地事業の支援」を継続し、地域特性



## 産業・観光振興と雇用確保

地域企業の成長発展が地域経済を活性化する原動力です。工業振興については引き続き、企業誘致や新たな産業の創出を促進し、地域産業の振興と雇用確保を図ります。

さらに若年女性の流出抑制に向け、企業などによる研修会や事業主と若年女性の意見交換会などの女性応援のため

の事業を支援し、雇用の確保

や、地元定着を図ります。商業振興については、由利本荘市商工会と連携し、既存商店の改装費の一部

支援や創業支援補助金により、支援機関との連携も強化して起業・創業の促進に取り組

ます。観光振興については、鳥海山から日本海に至る豊かな自然や民俗文化など、豊富な観光資源を一元的に発信して観光誘客を拡大し、産業と経済の活性化に結びつけます。



真田信繁(幸村)とお田の方のほり旗で市をPR

特に「鳥海山を核とした広域観光振興」を目指し、県、にかほ市と連携して観光地「鳥海エリア」を一体的に構築するため「観光スポットの魅力の向上」や「二次アクセスの構築」「観光情報の発信」を柱に事業を推進します。

本市、にかほ市、酒田市、遊佐町で構成する「鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会」では、今年9月の日本ジオパーク認定を目指しており鳥海山の知名度や観光地としての認知度の向上に努め、地

を生かした「鳥海りんどう」「アスパラガス」など、野菜や花卉、振興作物の産地づくりを推進するとともに、首都圏企業や地元団体との連携により、産地証明や品質規格の設定を行い「山菜ビジネス」の拡大を図ります。

### 市の支援受け、収益性の高い農業目指す

地区の農地を維持し、収益性の高い複合経営を目指して約60%で稲作に取り組んでいます。県の園芸メガ団地事業で調整出荷施設を建築でき、機械も導入できました。今年は3%で小菊やリンドウなどの新規植栽を行います。将来的には9%まで拡大する計画で、最盛期で30~50人ぐらいの雇用を考えています。市の支援と指導を大きな力にし、農地の有効活用を図りたいと思っています。



平根ファーム代表  
佐藤晴廣さん  
(61歳・鳥海町上川内)

Interview

# 5

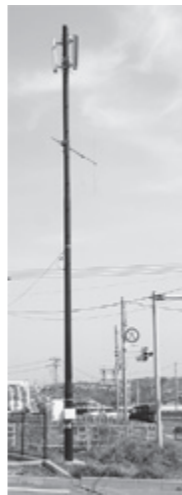
## 消防・防災

緊急時の情報伝達手段として、同報系防災行政無線システムを2カ年で整備し、全市一斉に瞬時の情報伝達が可能となりました。市民の安全・安心のために活用します。

また、市民一人一人のさらなる防災意識の高揚を図るために、自主防災組織と密接に関わり、認識を共有しながら活動を支援し、「災害に強いまちづくり」を目指します。

消防署は地域の防災拠点です。本年度は西目分署建設工事に着手するほか、大内分署の実施設計を進めます。

さらに、消防車両の更新や消防団員への安全装備品の配備、耐震性貯水槽の整備、消防格納庫の更新など、施設や装備の充実強化を図ります。



同報系防災行政無線システムで全市へ一斉に

畜産については、営農の継続や規模拡大となるよう、畜舎の増改築や優良な肥育素牛の導入などを支援します。

また、「秋田由利牛ブランド確立事業・増頭5カ年計画」により流通販売対策や、小学校給食への食材提供など、消費拡大対策を積極的に実施し、秋田由利牛ブランド力の強化に取り組みます。

農業生産基盤整備については、本荘地域松ヶ崎地区での県営ほ場整備事業採択に向けた調査計画をはじめ、ため池や用排水路などの整備と、国の日本型直接支払制度による共同活動を支援します。

林業では森林の持つ公益的機能の維持を図るほか、木質チップ製造機械購入を支援し林家所得の向上を図ります。

また、ともしび基金を活用し、子どもの遊び場創出や地元産の木を活用した製品開発による雇用の確保など、「地域資源の木材を使った新しい産業の育成」に着手します。

水産業については、漁港の環境整備を図るとともに、漁業者と一体となって水産資源の活用に取り組みます。

# 6

## 教育・文化・健康福祉



豊かな心と感性育み、確かな学力形成へ

健康福祉については、各種健診受診率の向上を図るとともに、生活習慣病の予防・改善効果が実証された「インターバル速歩」の普及拡大と合わせ、市民の継続的な健康づくりの拠点となる「健康の駅」の構築を目指します。

母子保健関係では妊婦や乳幼児健診、5歳児健康相談、不妊治療費助成やロタ、成人風しん予防接種などの事業の継続に加え、フッ化物洗口事業のさらなる拡大に取り組み

### Interview

## 市の子育て支援は充実していますね



2人目を出産予定  
藤原友香さん  
(27歳・矢島町立石)

1歳3カ月の娘がおり、夏に2人目が生まれます。6カ月から保育園に行っており、育児の相談についてアドバイスももらったりして助かっています。結婚前は潟上市在住でした。中学生までの医療費が無料で、子育て支援金制度があり、市の子育て支援は他市よりも充実していますね。木のおもちゃで遊べる施設ができれば、行ってみたいと思います。

# 7

## 社会資本整備・環境

座の開催や「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。

障がい者福祉については、相談支援業務の強化を図り、障がいを持つ方が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう、サービスの充実を図ります。

生活困窮者支援については、生活支援相談センターと連携して生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築し、経済的、社会的自立を支援します。

社会資本整備（インフラ）については、市民の安全・安心の確保を図るため、長寿命化修繕計画に基づき、管内道路や橋の点検を実施し、健全度を把握します。

また、市道改良整備や道路維持補修と、地域の実情に配慮した除雪作業を実施し、冬季交通の確保に万全を期します。年内を目前に「総合的な雪対策」を策定し、冬期間の快適で安全・安心な生活環境の改善、維持を図ります。

羽後本荘駅周辺の整備については、JRや関係機関と協議を重ねながら基本計画の策定を進めています。本年度は東西自由通路の設計や駅前広場の測量を実施します。

住宅リフォーム資金助成事業については、新たに子育て世帯が居住する住宅と定住促進奨励金制度で移住した世帯が

居住する持ち家のリフォームに対し、さらに手厚く助成し、経済的な負担を軽減することで、地域定住や移住・転入の促進につなげます。

水道事業については、蟻山浄水場改良工事や本荘と鳥海地域の老朽管更新事業を進め、安全・安心で災害に強い水道を目指すとともに、簡易水道事業については、上水道事業との経営統合に向け、大内・東由利・矢島簡易水道の統合整備を継続します。

下水道事業については、石脇地区の整備区域拡大と、長寿命化のため、水林、道川、前郷の各浄化センター設備の更新など、また、農業集落排水事業では、東由利地域での整備や本荘地域で全体設計や計画策定のほか、由利地域南福田地区と子吉地区との統合に向けて管路を接続します。

ガス事業については、経年管更新事業を推進してガス導管施設の安全確保に努め、環境に優しいクリーンな天然ガス

の利用促進を図ります。

再生可能エネルギーについては、55基（87基）の風力発電所に加え、平成29年度には新たに27基（74基）の稼働を予定しており、県内最大級の発電規模となります。「風力、太陽光、小水力、木質バイオマス」の事業に取り組む企業に対し、積極的な情報提供や助言を行います。

## 新年度に取り組む8重点施策

高齢者福祉については、生きがい支援や家族介護支援などの充実を図るとともに、高齢者の社会参加促進、健康増進や介護予防、生きがいづくりのための「介護支援ボランティア制度」導入と、住民が主体となり、地域で高齢者を支え合う仕組みづくりのため、「地域支え合い推進員」を配置し、自助・互助を基本とした生活支援・介護予防サービスの創出に取り組みます。

また、認知症高齢者や家族を支えるための広報・啓発に努めるほか、サポーター養成講



子育ての喜びあふれるまちづくり

### Interview

## 羽後本荘駅東西自由通路整備に期待



赤沼町内会長  
遠藤重徳さん  
(65歳・中楚天)

東バイパスが完成したことで、大型店の進出や宅地造成がなされ、住宅が増えました。市から羽後本荘駅の東西自由通路の計画について説明を受けまして、赤沼・大ノ道の両町内では駅裏開発整備に大きな期待を寄せています。この計画が円滑に進み、駅の利用増や周辺の活性化、街のにぎわいづくりにつながることを願っています。

目的名	事業名称	事業費(千円)
総務費	由利総合庁舎改築事業	542,452
	大内総合庁舎改築事業	186,107
	地域資源の木材を使った新しい産業の育成事業	5,470
	鳥海山・飛鳥ジオパーク構想事業	11,777
	スポーツ交流連携推進事業(総合防災公園)	18,122
	住民自治活動支援交付金事業	17,805
	地域づくり推進事業	27,429
	町内会・自治会げんきアップ事業	738
	結婚支援事業	400
	生活バス路線等維持事業	118,302
	コミュニティバス運行事業	140,765
	由利高原鉄道運営補助事業	80,000
	移動通信用鉄塔整備事業	17,677
	社会保障・税番号制度事業	29,375
	カダーレでの市主催事業	6,624
	文化交流施設(が-い)指定管理委託料	170,000
	諸証明コンビニ交付サービス事業	21,806
	移住・定住促進事業	12,447
	参議院議員通常選挙費	46,660
	県知事選挙事務費	16,271
市長選挙事務費	10,347	
民生費	介護給付・施設訓練等給付事業	1,448,283
	障がい者医療費	99,584
	地域生活支援事業	114,274
	生活保護費	1,284,742
	臨時福祉給付金給付事業	99,161
	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	310,480
	生活困窮者等自立支援事業	16,205
	敬老会開催事業	19,677
	高齢者祝い金給付事業	21,387
	広域分担金(介護保険費)	1,259,799
	老人クラブ活動費補助事業	8,642
	全国健康福祉祭あきた大会開催準備事業	1,750
	広域分担金(老人福祉事務費)	107,379
	地域密着型介護施設整備事業	141,839
	介護支援ボランティア事業	5,496
	地域ミニデイサービス活動支援事業	4,403
	地域包括支援センター拡充事業	98,731
	生活支援体制整備事業	12,175
	認知症総合支援事業	688
	認知症高齢者等見守り事業	1,995
食の自立支援事業	24,750	
保育所整備等臨時対策基金特別対策事業	231,441	
施設型給付事業(保育所・認定こども園)	1,959,026	
子育て支援金給付事業	31,020	
児童手当給付事業	1,115,238	
市立保育園運営事業	673,953	
子育て支援センター運営事業	15,542	
福祉医療費支給事業	702,647	
衛生費	矢島鳥海サテライトセンター整備事業	93,000
	ごみ減量化推進事業	64,482
	病院群輪番制病院運営事業	19,313
	地域中核病院医療機器整備費補助金	11,981
	由利組合総合病院運営費補助事業	20,000
	医師確保奨学資金貸付事業	12,800
	母子保健事業	66,649
	感染症予防対策事業	145,919
	フッ化物洗口事業(拡大)	1,134
	中学生ピロリ菌抗体検査事業	2,414
	健康の駅推進事業	65

目的名	事業名称	事業費(千円)	
衛生費	保健センター整備事業	35,000	
	(社)シルバー人材センター運営事業費補助事業	13,500	
労働費	就業資格取得支援助成事業	2,000	
	学卒者地元就職促進事業	429	
農林水産業費	雇用の創造事業	59,077	
	農業夢プラン事業	69,709	
	新規就農者経営開始支援事業	12,127	
	農業経営発展加速化支援事業	46,653	
	由利本荘米ブランド支援事業	8,131	
	園芸メカ団地整備事業	25,918	
	青年就農給付金業	20,086	
	機構集積協力金交付事業	30,780	
	元気な中山間農業応援事業	91,009	
	由利牛振興対策事業	4,299	
商工費	秋田由利牛肥育振興対策事業	1,800	
	県営担い手育成基盤整備事業	33,370	
	県営農村地域防災減災事業	20,840	
	農業基盤整備促進事業	286,780	
	多面的機能支払事業	379,314	
	中山間地域等直接支払交付金事業	481,635	
	民有林造林促進事業	21,000	
	水と緑の森づくり税事業	46,610	
	木育推進事業	1,600	
	地元漁業食材ブランドアップ事業	580	
	水産物供給基盤機能保全事業	107,147	
	商工会運営費補助事業	30,000	
	創業支援補助金	5,000	
	地域企業人材高度化育成事業	1,000	
	観光協会補助事業	20,716	
「真田丸」放送記念事業	1,069		
観光誘客促進事業(セールス、事業、補助)	10,048		
あきた未来づくりプロジェクト推進事業	26,711		
八塩いこいの森パークゴルフ場整備事業	94,270		
まるごと売り込み事業	10,003		
地域おこし協力隊設置事業	4,024		
目指せ1千万! 山菜ビジネス事業	2,000		
土木費	橋梁点検・長寿命化修繕計画	55,000	
	橋梁長寿命化修繕	106,000	
	由利本荘総合防災公園事業	2,219,730	
	羽後本荘駅周辺整備事業	224,848	
	住宅リフォーム資金助成事業	71,114	
	消防費	消防防災施設整備事業	51,000
		本荘消防署西目分署消防庁舎建設事業	197,280
		消防水整備事業	45,200
	教育費	非常備消防機械器具等整備事業	63,680
		西目中学校大規模改修事業	133,000
		大内中学校グラウンド改修事業	57,100
	教育費	石沢小学校体育館屋根改修事業	12,587
		コミュニティ・スクール(小・中)の推進事業	3,229
		全国コミュニティ・スクール研究大会事業費	1,307
		(仮称)石沢地区多目的集会所施設整備事業	116,764
民俗芸能伝習拠点施設整備事業		360,598	
大手門温水プール「遊泳館」指定管理		45,000	



首都圏企業や地元団体と連携し、「山菜ビジネス」を拡大!

## 地域コミュニティの再生

町内会・自治会げんきアップ事業については、話し合いの場づくりや事例学習会、視察研修会などを通じ、地域の将来ビジョンづくりを支援するとともに、実践活動に対する情報提供のほか、地域づくり推進事業に一定枠を新たに設けて支援します。

まちづくり協議会については、自主的学習の場を設けて議論を行っており、この取り組みを通じ「協働によるまちづくり」を推進するとともに、住民自治のあり方についても

ケーブルテレビ事業の高速インターネット通信については、本荘と矢島地域で高速・大容量化を図ります。

公共交通については、鳥海山ろく線や生活バス路線の維持確保、市コミュニティバスの運行などに継続して取り組み、地域の実情に沿った公共交通の実現を関係機関と連携を進めます。

また、1月から社会保障・税番号制度「マイナンバー制度」がスタートし、個人番号カードの交付が始まりました。

研究を継続します。

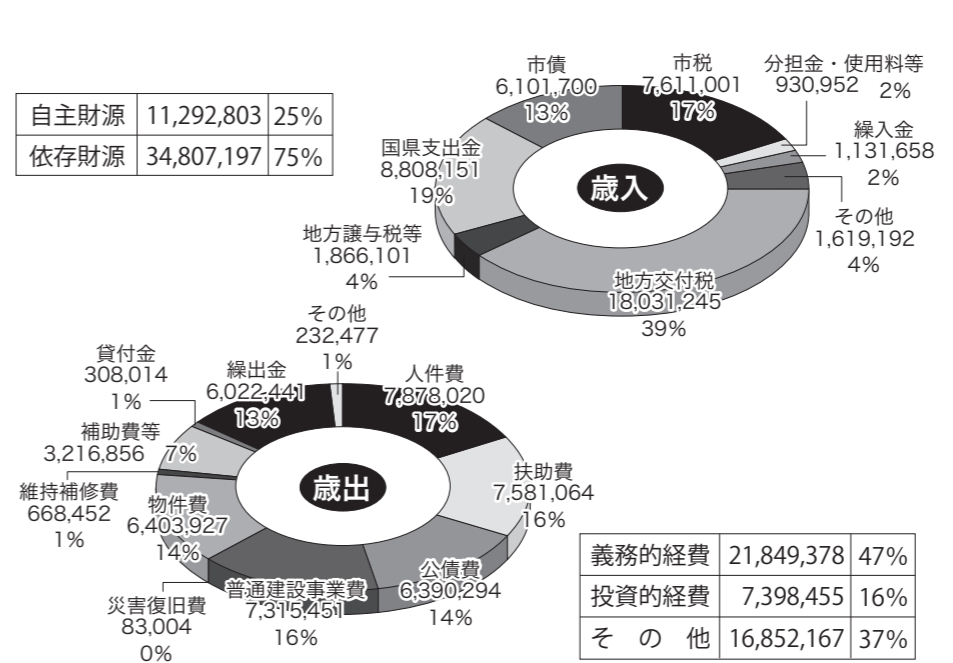
地域コミュニティの醸成と活性化を図り、「市民が主役のまちづくり」を推進するためには、市政情報の共有が不可欠です。広報紙やケーブルテレビ、ホームページなどを活用し、市の施策事業や身近な地域情報のきめ細かな発信に努め、親しみやすく、わかりやすい広報事業に取り組みます。

## おわりに

市民要望やご意見に柔軟かつ迅速に対応するためには、職員自らが市民の皆さまと共に汗を流し、市民感覚を大切にするごことや自己研鑽が求められます。市職員の各種研修への参加や派遣を行い、信頼される行政を目指します。

厳しい経済情勢の中ではありますが、「市民と共に歩む市政」に全力で取り組んでまいりますので、市民の皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 一般会計予算総額461億円の内訳 (千円)



## 特別会計・企業会計予算

会計別	予算額(千円)
特別会計(13)	
国民健康保険	10,546,814
後期高齢者医療	760,395
診療所運営	355,433
休日応急診療所運営	10,741
情報センター	524,585
奨学資金	75,085
下水道事業	3,214,803
集落排水事業	2,230,795
簡易水道事業	1,921,895
スキー場運営	163,103
小友財産区	1,989
北内越財産区	16
松ヶ崎財産区	919
企業会計(2)	
水道事業	3,056,257
ガス事業	1,650,506

# 人事

●副市長  
阿部太津夫氏  
(60歳・葛法)  
西目農業高校(現西目高校)卒業。市財政課長、総務部長などを歴任。



市長  
副市長

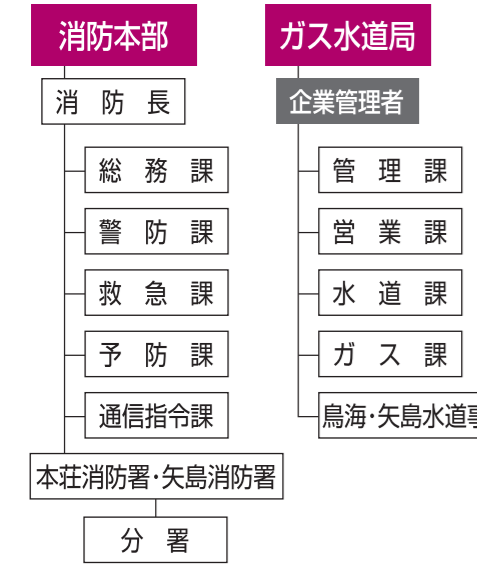


広報(号外・人事異動)別刷りもご覧ください  
◆次長・課長～新採用、3月31日付退職者については、別刷りの「広報ゆりほんじょう号外・職員人事異動」をご覧ください。

本年度第二回市議会臨時会が三月十七日に招集され、阿部太津夫氏を副市長に選任する人事案件が同意されました。



## 4月1日付の本市機構 各部・各課の配置図



 岩城総合支所長 佐々木藤悦	 矢島総合支所長 佐藤俊一	 会計管理者兼出納室長兼会計課長 木原 彰	 総務部危機管理監 佐々木高志	 保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局局長 大場ひろみ	 総合防災公園管理運営準備事務局局長 袴田範之	 由利本荘まるごと営業本部事務局長 松永 豊	 建設部長 佐々木肇	 商工観光部長 真坂誠一	 農林水産部長 遠藤 晃	 健康福祉部長兼福祉事務所長 太田 晃	 市民生活部長 村上祐一	 企画調整部長 佐藤光昭	 総務部長 原田正雄
 農林水産部政策監兼農山漁村振興課長 松永 剛	 消防本部消防長 畠山 操	 新ガス水道局長 三浦 守	 農業委員会事務局長 佐藤義孝	 監査委員事務局長 加賀秀喜	 選挙管理委員会事務局長 大庭 司	 議会事務局長 鈴木順孝	 教育次長 大滝 朗	 新鳥海総合支所長 新田芳則	 新西目総合支所長 釜台憲二	 新東由利総合支所長 佐藤博敦	 大内総合支所長 戸賀瀬裕晃	 由利総合支所長 熊谷甚悦	

市職員人事  
4月1日付  
部長級

## 異動

### 1. 異動の規模など

- ▶平成28年度当初職員数1025人(行政職836人、消防職189人)前年同期比△10人(消防1人増)
- ▶異動対象者数464人(行政職351人、消防職113人)
- ▶前年比43人減(行政職37人減、消防職6人減)
- ▶退職者数早期退職者を含め41人(行政職35人(うち退職派遣1人)、消防職6人)うち部長級6人(消防無し)
- ▶新採用職員数25人(行政職19人、消防職6人)
- ▶前年比8人減(行政職5人減、消防職3人減)
- ▶再任用職員数 採用21人(行政職19人、消防職2人)退職15人(行政職14人、消防職1人)

### 2. 異動方針および人員配置の要点

- (1)「総合防災公園」の運営準備体制の強化と、「健康の駅」関連事業の推進を図るため、「総合防災公園管理運営準備事務局」を「部」に格上げし、職員を増員した。
- (2)市立保育園の民営化と、地域木材資源を活用した、新しい産業の育成を図るため、「保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局」を「部」として新設した。
- (3)来庁したお客さまの利便性向上を図るため、市民生活部に、市民課・税務課の窓口業務を統合した「市民窓口センター」を「課」として新設した。
- (4)地域包括支援センターの拡充を図るため、「中央地域包括支援センター」(本荘・西目・東由利)を設置し、職員を増員した。
- (5)平成29年度に秋田県で開催される「全国健康福祉祭(ねりんピック)」のソフトボール、剣道競技の開催地として、その準備に向け、長寿支援課内に「ねりんピック運営班」を新設した。
- (6)特別養護老人ホームの指定管理者制度導入に伴い、円滑かつ安定した施設運営の確保を図るため、当該施設職員を派遣することとした。
- (7)女性の活躍を推進するため、女性職員を班長以上に積極的に登用した。
- (8)後期高齢者広域連合、県由利地域振興局(観光)、地域活性化センター、秋田県と市職員の相互交流事業、鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会事務局、国際交流協会に加えて、新たに、国土交通省東北地方整備局、東北経済産業局へ職員を派遣することとした。(計8人)

各地でおひなさまが町を彩る

由利本荘ひな街道 「町中ひなめぐり」 オープニングセレモニー



各地でそれぞれのおひなさまが鑑賞されました (左=大井家、右=八森苑)



矢島駅でのオープニングセレモニー

市内の各地でおひなさまを飾り、春を感じさせる「町中ひなめぐり」が、本荘・矢島・岩城・由利・大内地域の5地域で3月12日から21日にかけて行われました。

初日となった12日は、矢島駅でオープニングセレモニーを開催。セレモニーでは、矢島保育園の園児たちによる歌が披露され、由利高原鉄道で運行する「おひなっこ列車」でひなめぐりに訪れた観光客などを出迎えました。

今から152年前に購入された享保ひなが展示される「大井家」を訪れた志村民恵さん(68歳・東由利老方)は「今のおひなさまと作りに違いがあり、品があつてすてき。古いものを大切にする矢島の文化を感じました」と話し、展示に見入っていました。

川村さん、大好きな列車を独り占め

「ふるさと納税列車」第1号が運行



市のファンを増やすことを目的に、充実が図られているふるさと納税の返礼品。その目玉の一つと

して、昨年10月に新たに用意された由利高原鉄道・鳥海山ろく線の列車を貸し切った「ふるさと納税列車」が3月12日に初めて運行されました。乗車したのは大の電車好きという川村高志さん(67歳・千葉県)。3年前、由利高原鉄道のことを知りその魅力にひかれ、同鉄道の東京応援部長も務めています。「ふるさと納税列車」のことを知り10万円の寄付をした川村さんは、列車をいつか貸し切りにしてみたい、という夢を持っていました。

当日は川村さんの名前が記されたヘッドマークを付けた列車が羽後本荘駅に用意され、川村さんに乗せ矢島駅まで片道運行。車窓から見える鳥海山を楽しんだという川村さんは「夢が叶い本当にうれしいです。由利高原鉄道には末永く活躍してほしい」と笑みを浮かべていました。

「交通事故に遭わず、楽しい学校生活を」

市内小学校新1年生に黄色い帽子を贈呈



交通安全に気を付け元気に学校生活をスタートしてほしいと、由利本荘地区交通安全協会・青少年育成由利本荘市民会議本荘支部から市内小学校の新1年生634人に、ドライバーが認識しやすい「黄色い帽子」が贈呈されました。帽子の贈呈は今年で9回目となります。

3月10日、教育委員会事務局で贈呈式が行われ、遠藤誠助同協会会長・同会議支部長、渡辺正史同会議支部長から佐藤悠満さんと加川麗愛さん(ともに西目幼稚園。春から西目小入学)に帽子が渡されました。

Yurihonjo City Topics

Event and Sports

郷土の文人をたたえて

小島かはたれ 子ども俳句コンクール



俳句や小説などの文芸活動を行った旧本荘町の文人・小島かはたれの業績をたたえるとともに、俳句を親しんでほ

しいと開催された「小島かはたれ子ども俳句コンクール」の表彰式が3月5日、市内のホテルで行われました。コンクールは小島彼誰顕彰会の主催で、今年で8回目。本市にかほ市の小学校4〜6年生から計2876名の応募があり、上位の「かはたれ賞」など3賞に各5人、佳作に10人が選ばれました。

「流れ星 願いをせおって消えていく」という句を詠み、かはたれ賞に選ばれた佐々木柊樹さん(西目小5年)は「お父さんとお母さんと流れ星を見たことを思い出して詠みました。昨年応募した句は佳作だったので、上位の賞に選ばれてうれしいです」と話していました。

【各賞の受賞者(敬称略)】

かはたれ賞 田口俊也(岩谷小6年)、佐藤亜胡(新山小4年)、齋藤珠吏(鶴舞小6年)、佐々木臣(西目小4年)、佐々木柊樹(西目小5年)

北陽賞 本間有彩(新山小6年)、阿部賢慎(鶴舞小4年)、尾形大夢(尾崎小5年)、佐藤夏鈴(尾崎小6年)、木内風夏(西目小4年)

銀河賞 石塚光(西目小5年)、桐生愛菜(西目小5年)、佐々木彩音(平沢小5年)、佐々木優来(上川大内小4年)、伊藤聖心(上川大内小4年)

学校賞 上川大内小

滑って、漕いで、走って

第1回鳥海高原雪上トライアスロン大会



雪国の冬を楽しもうと、第1回鳥海高原雪上トライアスロン大会(ゆりほんじょうサイクルプロジェクト主催)が3月12日に南由利原スノー

モービルランドで開催され、個人17人と3チーム9人の合計26人が参加。そり、自転車、ランで先着を競いました。選手たちは普段慣れない雪上での自転車走やランニングに悪戦苦闘しながらも、全員が完走しました。

参加者の工藤直光さん(43歳・にかほ市)は「冬場のトレーニングの目標にもなるのでいい大会。また来年も開催してほしい」と息を切らしながら話しました。

五穀豊穡や家内安全を祈願し、迫力の梵天合戦

長坂稲荷神社梵天まつり



3月13日、大内地域の春の風物詩である長坂稲荷神社梵天まつりが同神社境内で行われました。

参道の入り口では若衆が梵天歌を披露し氣勢を上げた後、神社の境内へ。下川大内保育園と下川大内小学校、大内中学校の子どもたちの梵天奉納に続き、町内会や事業所から出た若衆が色とりどりの梵天を担ぎながら、次々と社殿に突入していきました。

初めて訪れたという三船幸雄さん(60歳・鳥海町下川内)は「想像以上の迫力に驚きました。来年もまた来ます」と興奮した様子で話しました。